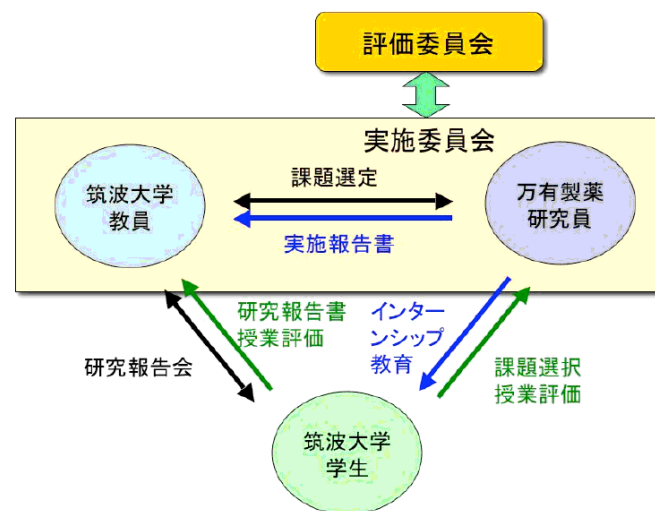
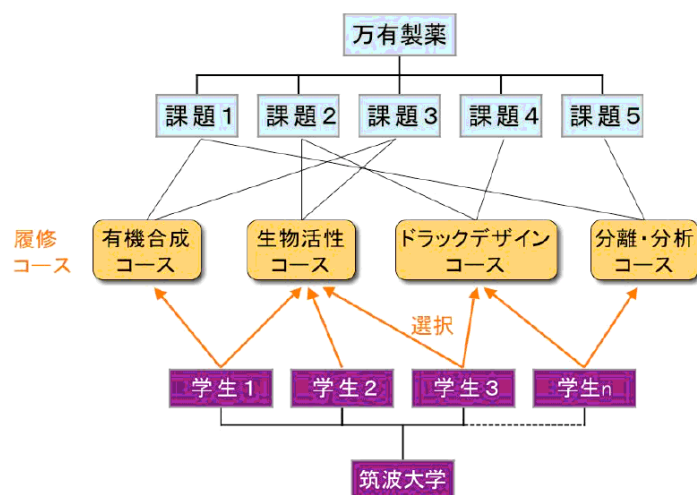




## 大学と企業とで育てる創薬化学高度人材

- 育成したい人物像:「創薬化学の最先端技術と企業論理を備えた高度専門人材」
- 現状の大学院化学教育では扱わないが、創薬化学企業における研究では必須である課題の実践的なトレーニングを実施
- 創薬化学の開発研究が概観できるよう、いくつかの課題を組み合わせた複数の履修コースを設定



## 平成 19 年度実施概要

平成 19 年 6 月 19 日 第 1 回講義

平成 19 年 6 月 20 日 第 2 回講義

平成 19 年 6 月 21 日 第 3 回講義

平成 19 年 6 月 22 日 第 4 回講義

講師など：深見竹広、大嶽憲一、相良 武、岩間年治、加藤伸二、加藤喜章  
(万有製薬)、木越 (筑波大学)

創薬化学に関する基本的内容の講義とインターンシップ実施説明

万有製薬株式会社の概要説明と創薬化学に関する基礎的内容を講義した後、一般的なインターンシップの意義とインターンシップの実施要領を説明した。

### 平成19年度文部科学省派遣型人材育成共同プラン 大学と企業とで育てる創薬化学高度人材 講演会

日時：6月19日(火)・20日(水)・21日(木)・22日(金)  
(いずれも10:00~12:00)

場所：筑波大学総合研究棟B棟 講義室(B0112)

#### 講義内容

6月19日(火)：深見 竹広 「創薬科学・総論—新薬開発における Proof-of-Concept」

6月20日(水)：相良 武/ 岩間 年治  
「ドラッグデザイン・hit- to-lead-to-development candidate」

6月21日(木)：加藤 伸二 「プロセス化学」

6月22日(金)：加藤 喜章 「医薬品開発における製剤研究および  
分析研究」

なお、この講演会は、「インターンシップ I」(化学専攻)の一部になります。

問い合わせ先：数理物質科学研究科 教授 木越 英夫(内線4313)

平成 19 年 7 月 9 日～8 月 9 日 インターンシップ実施中

参加学生：5名

有機合成コース 1名

ドラッグデザインコース 1名

分離分析コース 2名

プロセスコース 1名

参加希望学生を4コースに配属し、5週間の実習を行った。

平成 20 年 2 月 8 日 第 1 回インターンシップ事後指導  
平成 20 年 2 月 29 日 第 2 回インターンシップ事後指導  
講師など：木越

インターンシップでの実習内容を報告するとともに、それらをまとめ発表するためのポスターを作製した。

平成 20 年 3 月 4 日 公開講演会「企業と大学の創薬研究」  
講演 3 件  
インターンシップ実験ポスター発表 4 件  
参加者 35 名

企業と大学で行われている創薬関連研究の最先端に関わる講演を聴くとともに、インターンシップ実習のポスター発表を行った（ポスター参照）。

平成19年度文部科学省派遣型人材育成協同プラン  
大学と企業とで育てる創薬化学高度人材

## 企業と大学の創薬研究

平成20年3月4日（火）12：50～  
筑波大学総合研究棟B棟 講義室（B0112）

- ・ 12：50～13：00 山本 泰彦 数理物質科学研究科化学専攻長挨拶
- ・ 13：00～14：00 北崎 智幸 武田薬品工業株式会社  
医薬研究本部化学研究所 主席研究員  
「新規抗セブシス薬：TAK-242の創製」
- ・ 14：00～15：00 渡邊 秀典 東京大学大学院農学生命科学研究科  
応用生命化学専攻 教授  
「天然物合成に学ぶ」
- ・ 15：00～15：30 インターンシップポスター発表
- ・ 15：30～16：30 江口 正 東京工業大学大学院理工学研究科  
物質科学専攻 教授  
「微生物二次代謝産物生合成の精密解析」

問い合わせ先 数理物質科学研究科 教授 木越 英夫

Tel: 029-853-4313 (内線4313)

E-mail: kigoshi@chem.tsukuba.ac.jp